

鳥海山 山行報告書

日 程：2023 年〔令和 5 年〕8 月 4 日～5 日

参加者：岡村眞由美・岡村繁雄

コース：4 日 銚立登山口 → 御浜小屋 → 千蛇谷 → 大物忌神社 → 新山山頂 → 大物忌神社
→ 千蛇谷 → 御浜小屋 泊 9 時間 15 分行程
5 日 御浜小屋 → 銚立登山口 3 時間行程

気温は、地元の人に聞いても今年は、例年より暑いとのこと。そのため早朝に出発することにした。酒田の宿を 2 時起床、4 時前出発。

銚立登山口に 5 時前到着、5 時出発。





鉾立登山口駐車場
5時出発



クルマユリ



賽の河原
6時32分通過



御浜小屋手前よりガスが厚くなるが 一瞬海岸線が望めた

御浜小屋に2時間で到着。シュラフ等を小屋にデポして軽装で出発。

御浜小屋付近よりガスが出て視界は無いものの、登山道沿いには、チョウカイアザミ等多くの花が咲き誇って目を楽しませてくれた。



御浜小屋 7時8分着 21 発



チングルマ



登山道沿いの花々

千蛇谷コースと外輪山コースの分岐より一気に下降し、谷の雪溪を渡る。

天候が思わしくない場合は、外輪山コースは、風が強いため谷側ルートの方が安全であるとのことで、千蛇谷ルート経由で山頂を目指す。

鞍部の雪溪を通過後、大物忌神社まで長く感じた。



谷の雪溪を渡る



千蛇谷コースと外輪山コースの分岐



ダイモンジソウ



イワイチョウ



イワギキョウ



ヒメカンスゲ



チョウカIFSマ〔鳥海山の特産種〕

大物忌神社の少し手前で、チョウカイフスマも咲いていた。

大物忌神社を通過後の岩稜経由で新山山頂に 11 時登頂、時折小雨の中 6 時間を要した。

山頂で写真を撮って早々に下山。



山頂への岩稜



山頂より撮影



鳥海山〔新山〕山頂 11 時着



山頂より下山



鳥海山大物忌神社



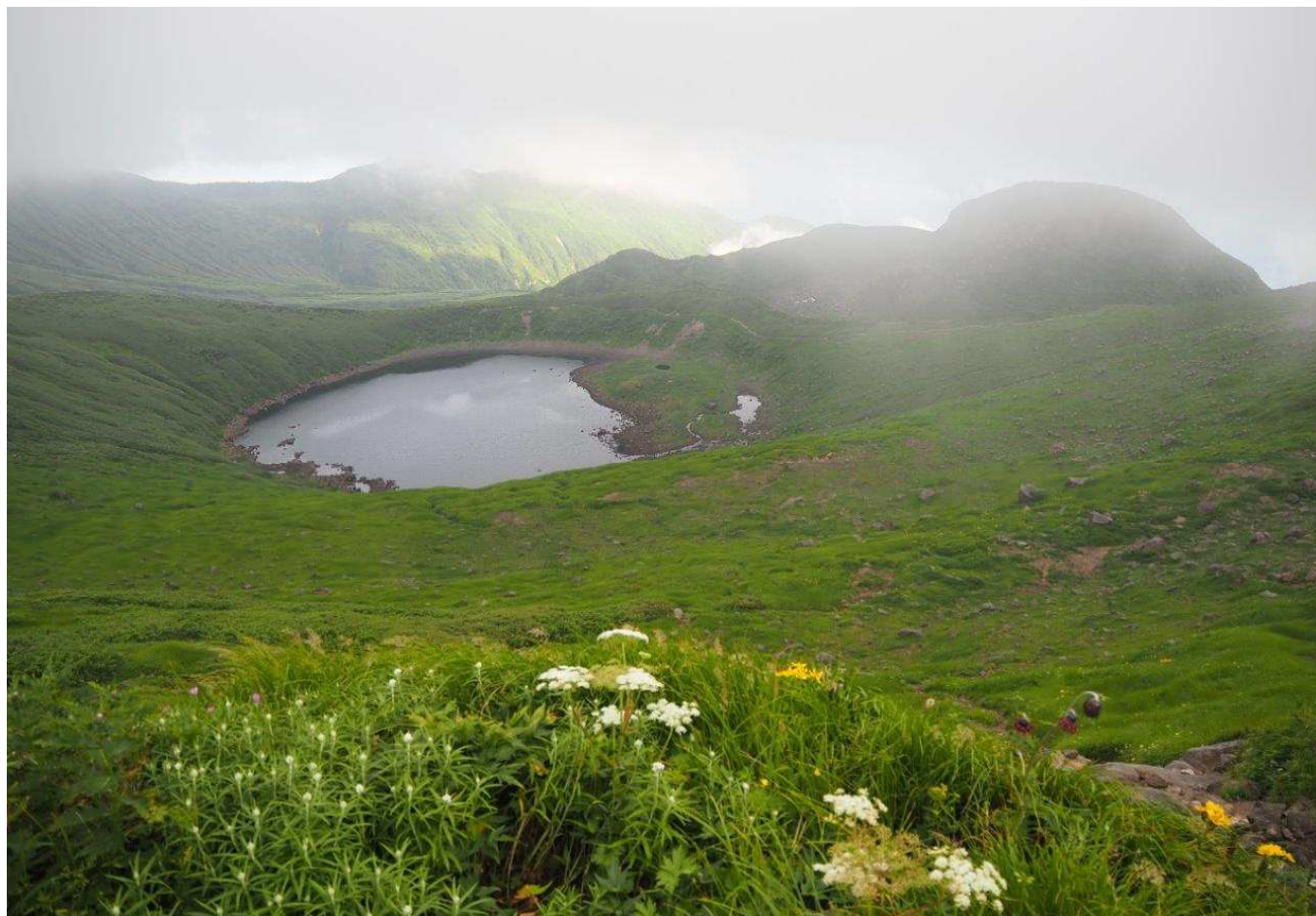
ニッコウキツゲの群落 途中何か所も見られた



イワブクロ



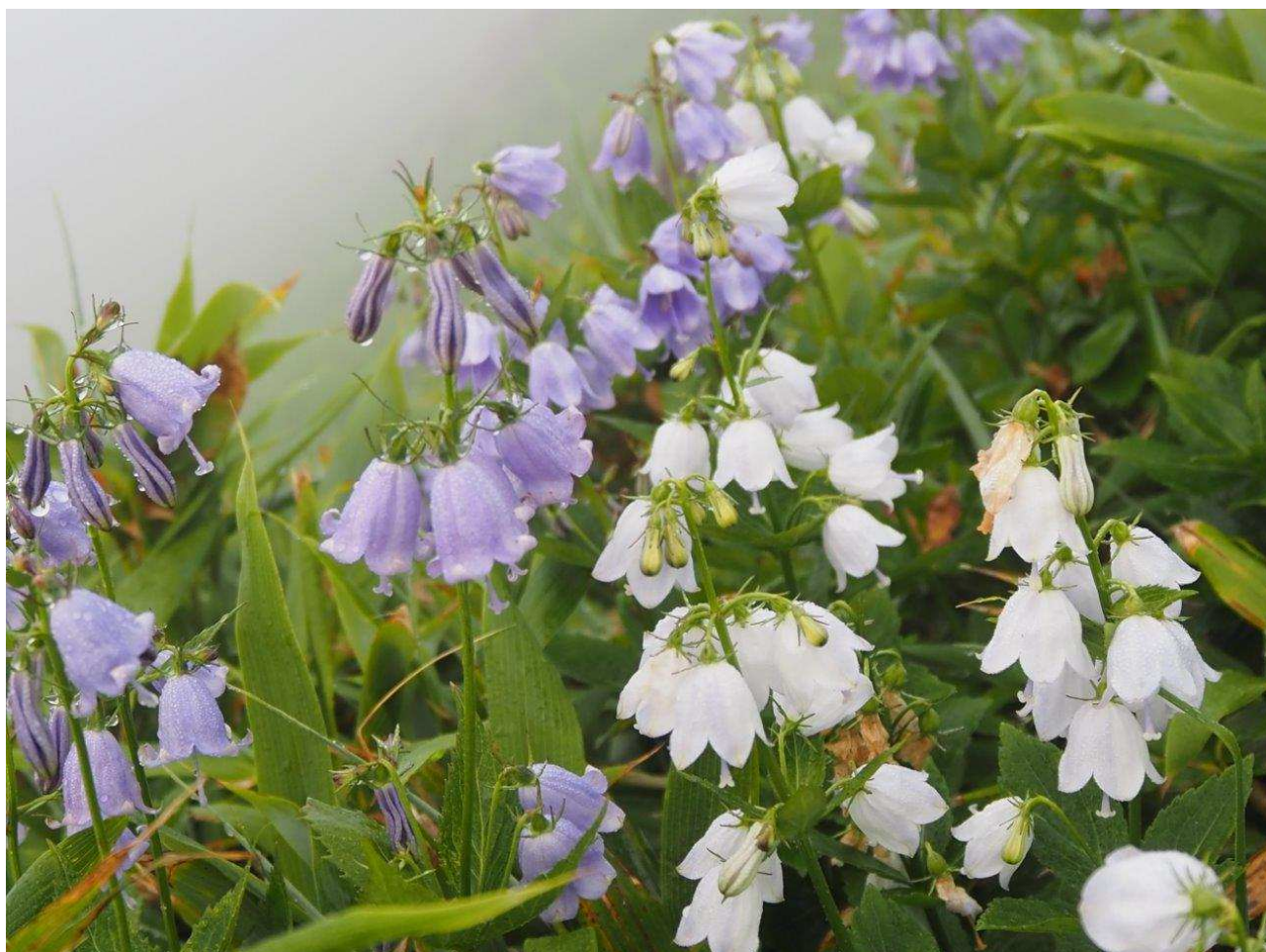
アオヤギソウ



御浜小屋より鳥海湖を望む



チョウカイアザミ〔鳥海山の固有種〕



ハクサンシャジン・シロバナハクサンシャジン



キンコウカ

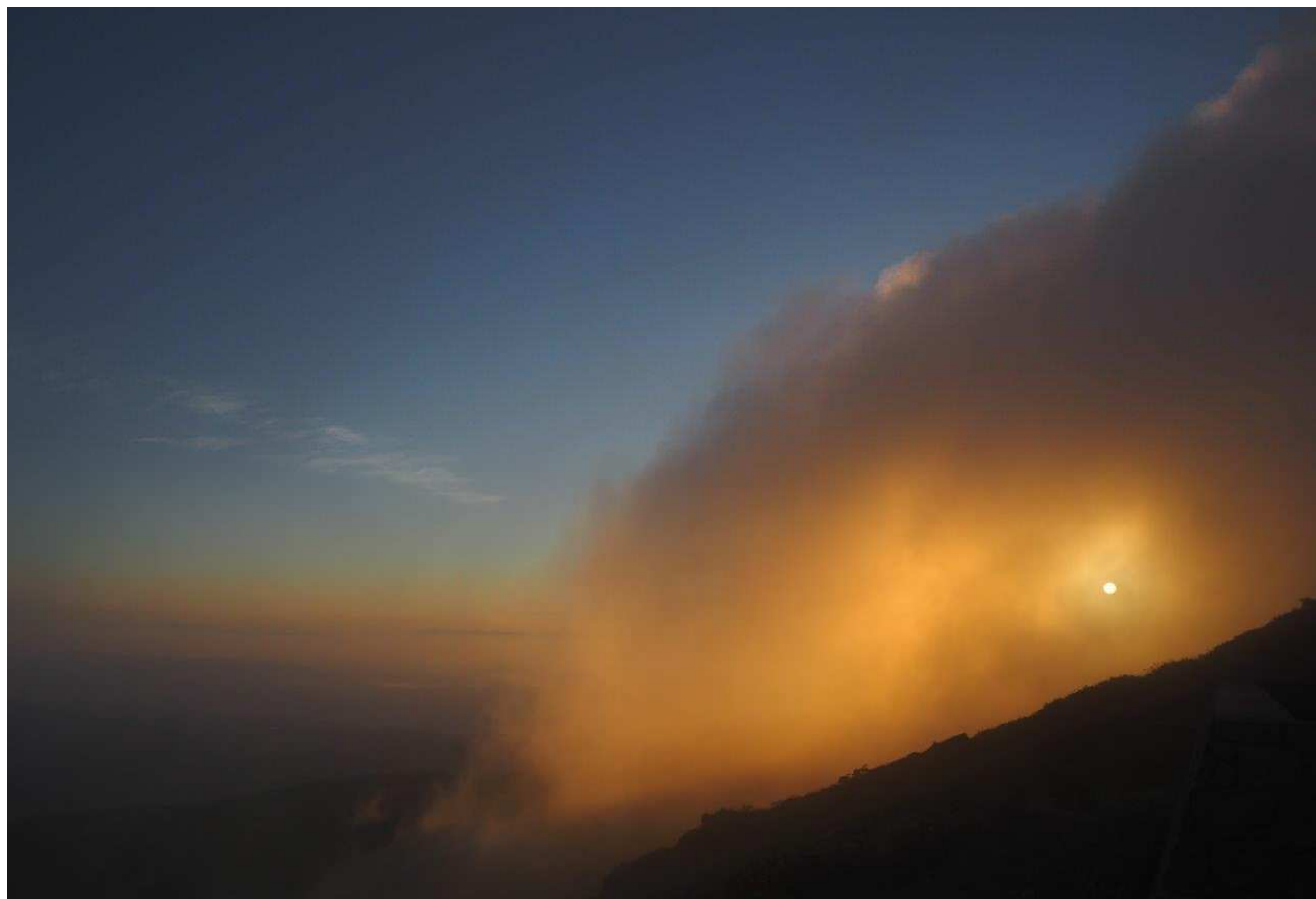
元来た千蛇谷ルート経由で、御浜小屋に14時15分着。9時間15分の行程であった。



御浜小屋で一息 くつろぐ



御浜小屋 夕食



5日 御浜小屋で日の出を望む

5日御浜小屋周辺は、時折ガスが切れて海岸線を望むことが出来た。

小屋のオーナーの話で、鳥海山は日本海沿いの独立峰のため、今頃はいつもガスがかかるとのこと。



日の出後 御浜小屋より



5日 6時30分御浜小屋を出発



下山時日本海が望めた



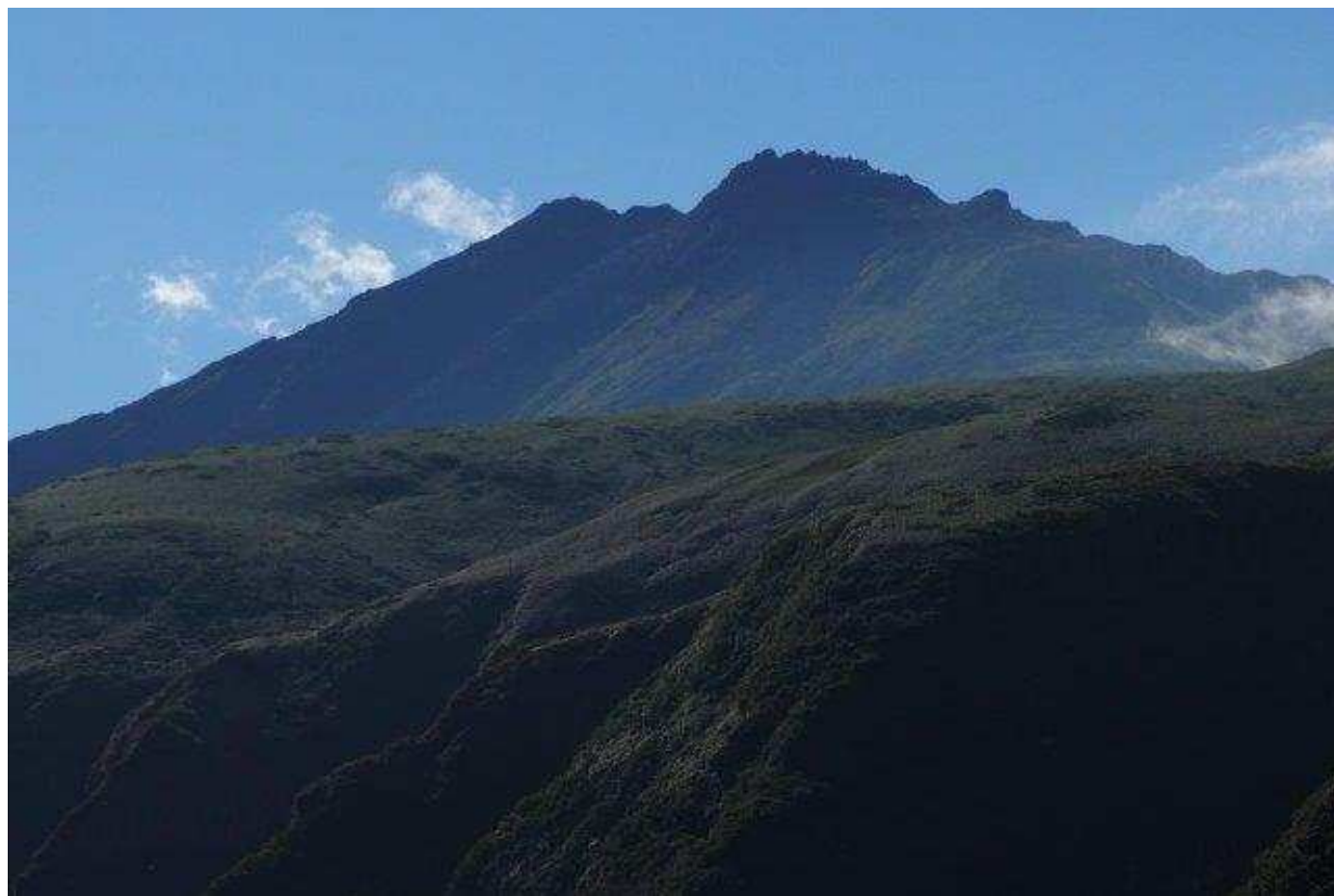
チングルマ



ホソパイワベンケイ



遊佐町方面の日本海の海岸線を望む



鳥海山を望む〔望遠〕

下山時には、咲き乱れる花を写真に撮りながら3時間で下山。

5日は下山した朝方、一時晴れて山頂が望めたものの、昼前にはまたガスが掛かっていた。



鉾立登山口



下山後 酒田市郊外より鳥海山を望む

鳥海山は行程が長いため、この先年齢を重ねると登れなくなるかとも思い臨んだが、日本海に望む独立峰であるため、その時々为天候に大きく左右されやすいようである。

下界は、猛暑であったが、山は、曇りで時折小雨が降る状況で、登るには思ったほど気温の上昇もなかったこともあり、運よく登頂することが出来た感じであった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura